

O H T C

O ccupational

H ealth

T raining

C enter

産業医科大学 産業医実務研修センター

産業医実務研修センター（OHTC）は、産業保健教育のナショナルセンターであることを目指し、「産業医実務トレーニングの提供」と「産業保健プログラムの開発」を行っています。

社会

産業保健を担う人材の育成

- 実務講座
- 産業医修練コースIにおける修練の調整・管理
- 臨床研修医の産業医学教育
- 日本医師会認定産業医研修
- その他研修プログラム

産業保健プログラムの開発

- 産業保健実務研究
- プログラムの提供

産業医科大学での安全衛生活動

- 健康管理業務
- 労働安全衛生マネジメントシステムの運用
- 産業医業務

センター所長のご挨拶

産業医実務研修センターは、平成3年の発足以来、産業医科大学卒業生を中心とする産業医学卒後修練課程在籍者および産業医の選任資格取得を目指す多くの医師に対して、実務研修を提供してきました。

この間、我が国の企業を取巻く環境や事業内容は大きく変化し、働く人々に新たな健康課題を引き起こしてきました。このような時代の変化に対応するため、当センターでは、常に産業現場のニーズに合った内容となるよう、常に研修内容の見直しを行っています。それを可能となるため、学内外の事業場において産業保健活動を実践し、また企業で課題となっている産業保健上の課題解決のための研究開発に取り組んでいます。

産業保健活動は、産業医のみで行われるものではなく、事業者、衛生管理者、労働者、産業医以外の産業保健スタッフとの連携で実践されるものです。今後研修対象を、これら産業医以外の産業保健活動の担い手に拡大するとともに、常に時代のニーズに対応できる産業保健研修のナショナルセンターを目指して、価値あるプログラムを提供していきます。

産業医学 実務講座

Occupational Health Practical
Training Course

産業医学修練医等の研修
コースとして設置されています。

カリキュラムのほとんどが、日本
医師会認定産業医制度に
おける生涯研修の指定講習と
なっており、認定産業医「認定
証」更新のために必要な単位
の対象となっています。

産業保健を担う人材の育成

科目

カリキュラムは4部門からなり、産業医実務に関する知識および技術について、幅広く実地に研修することができます。

総括
管理部

健康
管理部

作業
管理部

作業環境
管理部

対象者

産業保健に従事する方であればなたでも受講できます。

- 本学産業医学修練医
- 本学大学院生、教職員
- 日本医師会産業医生涯研修の認定単位を希望する方
- その他(医師以外の方も受講できます)

カリキュラム編成

1クール2.5ヶ月単位の編成となっています。



講義スタイル

レクチャー

各分野の専門家からの講義を通じて、産業保健の基本的知識・理論について理解を深める。

グループワーク

レクチャーで習得した知識を基に、グループで討議し、問題解決とコミュニケーションの向上を目指す。

ケーススタディ

実際の企業事例を用いて、グループで討議し、知識を実践へ活用するプロセスを学ぶ。

実習

企業や学内施設で産業保健活動の実践を経験する。

実務講座の科目詳細

Details of the subjects of the practical training program

総括 管理部

概要

総括管理部門では、労働衛生の三管理の基盤となる労働衛生管理体制作り、労働衛生の各分野の横断的な活動、企業・事業場の理解などについて研修を行います。センター内のみならず実際に事業場に出向いて職場巡視、労働衛生管理計画の策定、安全衛生委員会への参加等を行います。

テーマ

- 職場巡視(学内、学外)と事後措置
- 労働安全衛生法および関連法令
- 労働安全衛生マネジメントシステム
- 労働安全衛生年間計画
- 安全衛生委員会参加
- 企業制度の変化(雇用形態の多様化、成果能力主義人事)
- 産業医と倫理
- 国際的に見た産業保健の話題
- 企業経営・組織論
- 安全・品質管理
- CSRにおける産業保健活動
- 疫学
- 中小企業産業保健
- 企業外労働衛生機関、産業保健推進センターとの連携
- 健康保険組合
- プレゼンテーション
- 企画書作成
- Disease Management
- 産業医活動の実際
- 産業保健相談事例の検討
- 労働衛生・健康教育
- 産学連携
- 企業トップの考え方
- 組織ケーススタディ

健康 管理部

概要

健康管理部門では、労働者の生涯健康管理や多岐にわたる職業関連疾患防止のための知識技術向上のための研修を行っています。またこれからの新たな課題への対応方法についても検討しています。

テーマ

- 健康増進の企画・立案
- 健康診断・事後措置
- 健診事後の保健指導ロールプレイ実習
- 禁煙指導の実際
- メタボリックシンドロームと運動指導
- AEDの使用実習、災害時のトリアージ
- 熱中症予防対策
- 特殊健康診断判定実習
- バイオロジカルモニタリング
- 腰痛健診、VDT健診
- 職業性皮膚、歯科疾患
- 食中毒予防及び食品衛生
- 生物因子のリスクアセスメント
- 精神科臨床講義(統合失調症、うつ病、人格障害、発達障害、アルコール依存症)
- 組織心理学
- 企業における復職のしくみ
- 復職意見書の書き方
- メンタルヘルス:積極的傾聴法、ストレス評価法、システム作り、事例検討、企業での教育、職場環境改善、外部資源の使い方
- EAPの選択・契約と質の管理
- 交替勤務者の就業配慮
- 海外派遣労働者の健康管理
- 女性労働、労働者保護
- 有害業務(有機溶剤・騒音、VDT作業、放射線業務)対策
- シックハウス・化学物質過敏症

作業 管理部

概要

作業管理部は、作業負担の軽減、作業上の不具合の除去を検討して、労働者の健康障害を未然に防止する方策、さらには労働者にとってより快適な職場環境を形成するための方策等の研修を行っています。また、組織設計管理の進め方や安全管理についても実地に研修を行っています。

テーマ

- 作業姿勢の評価
- 腰痛対策の実際
- 作業管理活動と職場巡視
- 作業負荷の把握と評価
- 高齢者の特性と就労
- VDT作業に関する作業管理
- 振動計測の理論と実践
- 異常気圧下での労働衛生
- 障害者のための作業管理
- 快適職場の実例
- 職場改善
- 労働能力評価
- 安全管理
- ヒューマンエラー
- 事故傾性
- 人間工学チェックリスト

作業環境 管理部

概要

作業環境管理部では、作業環境中に存在する有害ガス、有機溶剤、粒子状物質等有害化学物質、騒音・振動、放射線等有害エネルギーの有害性と作業環境の測定から健康障害リスクを評価して、局所排気等適切な作業環境改善を指導する手法について研修を行っています。さらに総括的な職場巡視の手法についても作業環境管理の視点から研修を行っています。

テーマ

- 環境の評価と対策
- 有害業務のリスクアセスメント
- 新規化学物質の有害性評価
- MSDSの読み方・活用方法
- 化学物質の導入とPRTR
- 職場における喫煙対策の理論と方法
- 個人曝露測定的设计と評価
- 粉塵一般の測定評価
- 有害職場(有機溶剤・騒音・酸欠)
- 廃棄・換気装置の理論と応用
- 作業環境改善実習
- 電離放射線
- 室内環境
- 化学物質と法規制化審法と労働安全衛生法

産業保健を担う人材の育成

Bringing up practitioners who will shoulder occupational health

産業医修練コースI における 修練の調整・管理

産業医活動に必要な幅広い知識と実践能力を有する実務的産業医の養成を目的とする産業医修練コースIでの修練医の所属先となっており、同コース4年間の修練を調整・管理しています。

修練医は、嘱託産業医活動や巡回健診業務等の実務をしながら、産業医学実務講座の受講や産業保健実務研究に携わり、知識と実践を結びつける実践的なトレーニングを積んだのち、教員の支援のもと産業医等に就職します。

就職後も、産業医実務研修センターが産業医のオープンネットワークの拠点として機能し、継続的な専門家の育成を目指しています。

臨床研修医に 対する 産業医学教育

産業医科大学臨床研修プログラムでは、大学の特長を生かし、地域保健・医療の一環として「産業保健コース」が選択でき、産業医実務研修センターがこの教育を担当しています。

学外での産業保健活動の体験（専属産業医及び嘱託産業医活動への同行、企業外労働衛生機関のご協力の下での巡回健診業務等）と、学内での産業保健活動の体験（安全衛生委員会、職場巡視、産業医学実務講座の受講）が経験できる2ヶ月間のプログラムを提供しています。

日本医師会認定 産業医研修

産業医実務研修センターでは医師会と協力し、日本医師会認定産業医研修会の開催および講師派遣を行っています。

- 産業医基礎研修会（夏期集中講座：通常8月に開催）
この研修会では、認定産業医に必要な50単位を6日間で取得することが出来、毎年約500名が受講されています。
- 福岡県医師会共催研修
講義・実習を含む2日間の日程で開催されています。
- 日本医師会産業医研修会への講師派遣
西日本地区を中心とする各県の医師会の求めに応じて、学外での認定産業医基礎・生涯研修会に講師を派遣しています。

その他研修 プログラム

産業医実務研修センターでは、その他にも厚生労働省から委託された「メンタルヘルスエキスパート産業医」養成コース等の研修プログラムを開催しています。このコースは、労働者の職場復帰支援等の事業場におけるメンタルヘルス対策を立案し、実施する能力を修得するとともに、産業医の資質向上において各地域や企業での中核的な役割を果たすことができる産業医の養成を目的とした研修プログラムです。

産業保健プログラムの開発

Development of Occupational Health Program

産業保健 実務研究

産業医実務研修センターでは、所属する教員、産業医修練コースⅠ修練医を中心に産業保健現場で活用できるツールを開発するための実務研究を行っています。

開発された産業保健プログラムは、書籍として発行する他、web上にも公開し、幅広く現場で活用していただけることを目指しています。(産業医科大学HP上からOSHMSの情報や様式がダウンロードできる他、実務において役立つツールやデータベースを掲載しています。)

<http://www.uoeh-u.ac.jp/JP/medical/oshms/OSHMS.html>

<http://ohtc.med.uoeh-u.ac.jp/index-j.html>

産業保健情報 プログラムの 提供

産業保健実務相談窓口を設置し、産業現場からの産業保健に関する相談に対して情報提供サービスを行っています。一部の相談は、そのエッセンスを、Q&A形式で、「福岡県医師会雑誌」ならびに「とびうめ(福岡産業保健推進センター発行)」に掲載していただいています。

相談受付 Eメール:ohtc_soudan@med.uoeh-u.ac.jp

FAX:093-603-2155

平成18年に発足した(株)産業医科大学ソリューションズと連携することで、より柔軟に企業へ産業保健プログラムを提供することが可能となってきています。

<http://www.uoeh-s.com/index.html>

産業医科大学組織での安全衛生活動

Safety and health activity in the Organization of the University of Occupational and Environmental Health (UOEH)

健康管理 センター

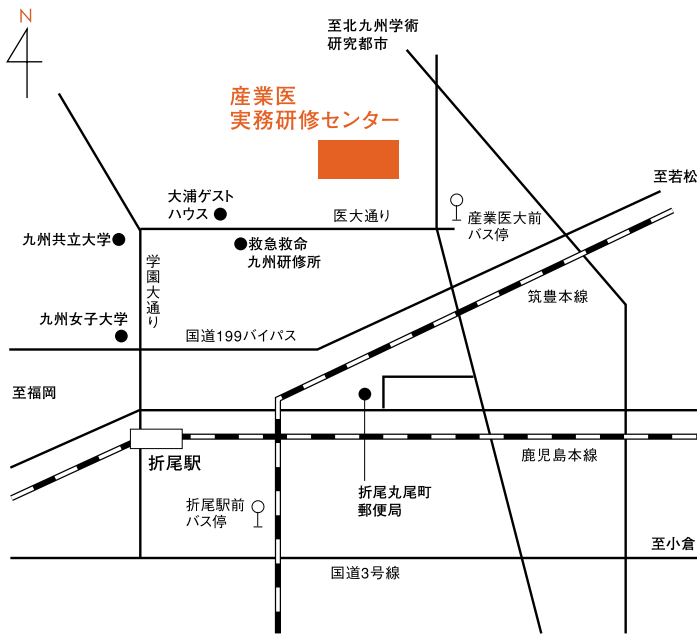
健康管理センターでは、職員のみならず、学生の健康管理も行っています。学生・職員の定期健康診断、特定業務従事者の健康診断、特殊健康診断や、医師・保健師・心理相談員などによる日常の健康相談や保健指導も行っており、健康で充実した学生・職員生活が送れるように、心と体の健康の保持増進を支援しております。

産業医活動

産業医実務研修センターの専任教員は、産業医科大学の産業医に選任されており、健康管理センターにおける職員の健康管理、職場巡視や安全衛生委員会による職場改善など安全衛生活動に従事しています。

労働安全衛生 マネジメント システムの 運用

平成16年度から産業医科大学では労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)を導入し、効率的かつ確実な安全衛生管理体制を実践しています。OSHMSの年間計画に基づく産業保健活動や、システム文書の管理・訂正などについても産業医実務研修センターは中心的な役割を担っています。



産業医科大学までのアクセス

産業医実務研修センターは大学病院向かって左側の建物です。

最寄JR駅「折尾駅」

- 福岡空港—博多……………地下鉄で約10分
- 博多—折尾……………JRで約40分
- 小倉—折尾……………JRで約25分
- 新北九州空港—大学……………エアポートバスで約60分

折尾駅から

- タクシーで約5分
- 北九州市営バスで約10分



- 産業医科大学
産業医実務研修センター
- 〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1
TEL. (093) 603-1611
- <http://ohtc.med.uoeh-u.ac.jp/index-j.html>